

禅の墨蹟 (恭真書)



書も然る事ながら、墨絵も味わいがあります。何事にも動じない、冷静沈着な態度、物腰は四国の修行で学んだものだと思います。書の研鑽は誰にも負けません。

恭真墨蹟ネット ⇒



和顔愛語 (わげんあいご)

和顔愛語とは、「大無量寿経」にある言葉で、和顔はおだやかな笑顔、愛語は優しい言葉使いで人に接することを言います。笑顔は人を幸せにしてくれるものです。中でも赤ちゃんの笑顔は最強です。ニコツと笑った、無邪気な笑顔は何とも言えない温かさがあり心も癒やされます。



はたして自分は他の人にどんな笑顔を届けているだろうか。自らを幸せにし、人を幸せにする布施行が「和顔愛語」です。いつも和やかな笑顔と優しい思いやりのある言葉使いを大切にしたい。

ただまさに、やわらかなる容顔をもて、一切にむかうべし

(道元禅師)

仏事の知識

享年 (きょうねん) とは

お位牌に記入する際は「享年」または「行年」と書く。満年齢ではなく数え年です。「数え年」は生まれた年を一歳とし、年が変わると、一歳年を重ねるといふ考え方。享年は「天から享(う)けた年月」という意味がある。この世に存在していた年数を表し、享年には0歳という概念がないため、生まれた年を一歳として数えます。行年も享年と同じように、「この世に生まれてからのくらしい経過したか」を数えた数字です。数え方は、享年と同じ。享年は生きた年月、行年は生きた年であるという点に違いがあります。このような違いから、享年を記載する場合は歳をつけず「享年〇〇」、行年の場合は、「行年〇〇歳」と記載するのが正式とされていますが、最近はあまりこだわらないようです。

仏事の知識
↓ QRコード



●曹洞宗公式ホームページ

<http://www.sotozen-net.or.jp/>

●曹洞宗禅ナビ (寺院ポータルサイト)

<http://www.sotozen-navi.com/>